

長 坂

真理の鐘の鳴り響く

平戸市立生月中学校
学校だより 第 7号
(令和3年 7月)
文責 堀江 泰賢

【生徒信条】『今日よりは 幼心を打ち捨てて 人となりにし 道を踏みかし』

『生月っ子』の心を見つめる教育週間 ～「教育週間(学校開放週間)」が行われました～

去る6月28日(月)から7月2日(金)まで、今年度の「長崎っ子の心を見つめる教育週間(学校開放)」を実施しました。長崎県では、平成16年からこの教育週間が開始され、すべての公立学校で教育活動の公開が行われ、学校と保護者や地域住民が連携し、「地域の子どもは地域ではぐくむ」という気運を高めるとともに、「いのちを輝かせて生きる心豊かな長崎っ子の育成」を目指しています。生月中学校でも、期間中、「命の講話」、「救命救急法講習」、「命に関する道徳」、「懇談会」をはじめ、通常授業の公開も行いました。

今年度までは、新型コロナの関係で、昨年同様、地域の方々にはご案内できませんでしたが、期間中、特に道徳の公開授業や懇談会では、保護者の皆様に、多数、ご来校いただき、本当にありがとうございました。

来年度は、新型コロナも終息し、保護者の皆様だけでなく、広く地域の皆様にもご来校いただけることを願っております。



毎週、木曜日は「新 メディコンデー」 ～ 令和3年度「メディアコントロールチャレンジ」～

本日15日(木)は、今年度、「メディコン」のルールを変更して、3回目の「メディコンデー」です。すでに『メディコン通信①』でお知らせしたとおり、ルール変更の理由は、①メディコンを「させられる」のではなく、自分の意志で取り組んでほしい。②家族で話し合っただけの「ルールを守る」という意識をもって取り組んでほしい、ということです。これから大人になっていく生徒の皆さん(私たち大人もですが)には、「自主」と「自律」の精神を身に付けることが大切です。自主的・自律的な取組となるよう、『メディコン通信①』の裏面にある「なぜ、メディコンに取り組む必要があるのか?」を、改めて読んでみてください。

生徒の皆さんが、メディアと上手につき合う力を身に付け、将来にわたって健康な生活を送ることができるための「自己管理能力」を身に付けてくれることを願っています。

保護者の皆様には、お子さんの頑張りを応援していただくようお願いいたします。



「子ども達のより良い教育のために」 ～市教委による定例学校訪問を終えて～

去る7月6日(火)、平戸市教育委員会による定例学校訪問指導を受けました。当日は、本校の学校経営方針等の説明をするとともに、先生の指導や生徒の学習の様子、校舎内外の学習環境などを見ていただきました。

総括指導では、生徒が意欲的に学習活動に取り組んでいること、校舎内外の整備がよくなされていることなど、全体的に良い評価をいただきました。特に、授業でICT機器を活用し、生徒同士で話し合ったり、協力して課題を解決したりする活動がよくなされていると、先生方の取組と生徒の頑張りを褒めていただきました。

これからも、「子ども達のより良い教育のために」を合言葉にして、職員一同、頑張っていきたいと思います。

